

平成28年度の学校経営方針

可児市・御嵩町中学校組合立共和中学校

【国・県の方針】 学習指導要領実施・「第2次岐阜県教育ビジョン」

【可児市、御嵩町の学校教育の方針と重点】

御嵩町
 <めざす子どもの姿> 「自立力・共生力・創造力・自己実現力」の4つの力を備えた
 「進んで 友だちと 工夫して 生み出す子」
 <方針> ・一人一人に「生きる力」をはぐくむ指導をする
 ・学校の教育目標の具現に徹する」学校経営をする
 <4つの最重要点> 教科指導 人権司和教育 健康教育 環境教育

可児市
 <子ども像> 「自分のよさを発揮し、たくましく生きる子ども」
 <方針> 市民運動「Educe 9」の積極的な推進
 ◇一人一人のよさや可能性を引き出し、伸ばし、鍛え、「生きる力」をはぐくむ指導
 ◇学校の教育目標の具現に徹し、明るく活力にあふれた特色ある学校経営

【教師集団から生徒・保護者への明確なメッセージ】

- 君たちが価値あることに頑張る姿を先生たちは全力で応援します
- 頑張る仲間の足を引っ張る子には、先生たちが集団で立ち上がりります
- 困ったことが起きたら、どの先生でも良いので必ず相談しなさい
- 相談を受けたら、先生たちは直ぐに解決に向けて動きます

【共和中学校いじめ防止対策基本方針】

～いじめを許さない支持的風土の醸成～

学校の教育目標

「心豊かで 実践力のある生徒」

・礼節 ・自治 ・美

合い言葉
Grade Up

目指す学校像

指導の重点

【学校の課題】

《よさをさらに伸ばす》

- 明るく落ち着いて授業に取り組む姿
- 体育大会、音楽会等に積極的に参加する姿
- 「共和道」の意識の定着と実践する姿
- 地域行事へ積極的に参加する姿・ボランティア活動

《課題を克服する》

- ・自分に対する自信
- ・挑戦意欲、粘り強さ
- ・切磋琢磨する姿

* 学習指導要領の確実な実施

* 習熟度別授業の深化 個に応じた指導の充実と基礎学力の定着・向上

* 地域への情報発信（経営方針・生徒の姿等）と IT の授業への活用

* 道徳指導・人権教育の充実（全教育活動で・教材の開発と指導方法の工夫改善）

* より開かれた学校づくりの推進

- ①生徒の、地域行事や地域活性化事業への積極的な参加
- ②懇談会等の充実による、保護者の教育活動への積極的な参加と共同
- ③地域人材の活用と新たな発掘

“子どもにとってどうなのか” “どんな大人（人）に育てたいのか”
 常に子どもに軸足を置いた「教師のものさし」指導を基盤とする

	「わかる喜び」のある授業	他を思いやる豊かな心	自主性や自治力・自浄力	個の伸長のための教師の構え
4つの窓	「授業」を通して基礎学力の向上 授業力の向上と質の高い学習集団づくり 一人一人が「確かな学力」を身に付ける授業づくり ○単元（題材）全体を通して、「生徒に理解させ」「どのような力」を身に付けさせるかを明確にする。 →本時の「ねらい」の明確化 授業の出口で生徒に何が身に付いたか（変容） ○3つの見届け ・客観的データを基にし、生徒の実態の見届け ・つまづきに応じた手立てを講じ、学習状況の見届け ・まとめや振り返りの時間を十分位置づけ、定着状況の見届け	自己を生かし、仲間とよさを認め合える関係 ○学級経営・学年経営の充実 ・自己を生かし、存在感を味わわせる ・仲間のよさを認め合える → 自尊感情 ・自己を見つめ他を思いやる活動の場の位置づけ → 他尊感情 ・偏見や差別を許さない教師の指導・援助 ○「道徳の時間」の充実 ○人権教育の充実と徹底一人権尊重の集団づくり 「共和中 人権宣言」の取り組み ○豊かな体験活動 ・環境学習 ・職場体験 ・あいさつ活動 ○家庭・地域との連携	生徒を信じ、生樹に任せ、やりきらせる ○係活動・生徒会活動の充実 自治力・自浄力の育成 ・役割にこだわり、役割に徹する指導 ・温かく厳しく呼応し合う学級・生徒会活動をめざす → 集団への所属感、存在感、役割に徹した成就感、充実感、満足感を味わわせる → 自信・誇り、自己肯定感 自尊感情 ・「共和道」（あいさつ・合唱・掃除）のやりきりを目指す ・部活動（規律と技術を磨く） ○家庭・地域との連携	生徒理解の深さが教育の質を左右する 「どの子にも、必ずよさや可能性がある」 私たちの前提 「どの子も、よりよくなりたい、よりよく生きたいと願っている」 生徒の現状に満足せず常に質の高いものを求める教師集団 ○生徒一人一人と目を合わせて会話できる教師 【共感的な人間関係】 ○生徒一人一人が自分で決めて行動できるように教えて待てる教師 【自己決定】 ○生徒一人一人が伸びや頑張りの事実を捉えて認め励ませる教師 【自己存在感】 <特別支援教育の充実> 『気になる子』を「配慮」から「特別支援教育」につなげる
	「共和中 人権宣言」・「共和道」あいさつ・合唱・掃除の実践 安全・安心な学校づくりと不登校の「0」の学校			
2つの基盤	そのために、教師自身が生徒に徹して寄り添うか？ 実態から教師はいかに生徒に語り伝えるか!? 裏切られても信じぬか! <明るく、前向きなトーン>			
	<組織力を発揮> ‘チーム共和中’として組織で動く共和中職員の突進力! ○教師集団が「一枚岩」に → 共通理解・共通行動と教師のこだわり ・学校は組織体、組織の一員としての自覚をもって動く → 役割の自覚と責任感・「学年を、学校を自分が動かす!」という自負と実践 → 「どこを、何を变えるのか」常に見直しと改善に努め、実践する ・組織を機能させる → 主任会、指導部会、学年会、企画委員会、研究推進委員会等の充実 = 建設的・積極的な討議 ← 校長・教頭・教務主任・生徒指導主事の積極的な教育活動の参観と職員への具体的な指示 ・ラインを強化させる → 一人で抱え込まない → 報告・連絡・相談は、組織力を発揮する基盤 ○「風通しのよさ」が、職場を活性化させ、保護者や地域からの信頼につながる 生徒のよさを見逃さず、保護者に事実を報告し信頼関係の構築を図る。 <地域に根ざした開かれた学校、安全・安心の学校> ○家庭、地域へ情報公開・情報発信の一層の充実 ・学校の公開（岐阜県教育週間 授業参観 etc.） ・学校だより「高倉」、学校ホームページの充実 ・危機管理マニュアルの徹底 ・学校評議員会の実施 ○地域の人材（祖父母・保護者も含めて）の積極的活用 → 地域ぐるみの環境整備と安全確保 ・各種団体《自治会、公民館、青少年育成町民・市民会議、民児協等》との連携とボランティア活動への参加 ・地域の行事への生徒の積極的参加 「花届け活動」「夏祭り」等 “明日も行きたくなる学校” “地域の学校”			